

はらたいはいせき い こうぐん
腹帯配石遺構群

- ◇ 指定日 平成4年3月10日
- ◇ 所在地 腹帯
- ◇ 所有者 個人

腹帯配石遺構群は、新里地域腹帯の国道106号沿いにあり、閉伊川の段丘上に位置しています。縄文時代でも中期・後期といわれている約4,000年前の遺跡です。



配石遺構



立石

平成元年・2年(1989

年・1990年)に発掘調査が実施され、南北方向に連続して石を立てたものや石を円形に並べた配石遺構が見つかっています。また、周辺にはお墓と考えられる遺構も見つかっています。

縄文土器や石斧、斧の形をした土製品なども多く出土しています。

これらの遺構・遺物から、縄文人たちの信仰の場であった可能性が考えられています。